

## 八雲病院の機能移転に関する基本計画（概要）について

平成27年6月3日に、独立行政法人国立病院機構八雲病院の医療機能を、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター及び独立行政法人国立病院機構函館病院に移転することとした「八雲病院の機能移転に関する基本構想」を公表したところです。

今般、当基本構想に基づき、「八雲病院の機能移転に関する基本計画」を策定しましたので、概要についてお知らせします。

### 1. 北海道医療センター

#### (1) 基本事項

##### 一 基本方針

独立行政法人国立病院機構八雲病院（北海道二海郡八雲町）の「筋ジストロフィー」に関する機能及び「重症心身障害」に関する機能を独立行政法人国立病院機構北海道医療センター（同札幌市）に移転し、現在の「神経・筋疾患、がん、循環器病、救急医療等」に、新たに「筋ジストロフィー、重症心身障害」を加え、同センターに「筋ジストロフィー・重症心身障害センター（仮称）」及び「NPPVセンター（仮称）」（臨床研究部門）を設置し、急性期から慢性期、セーフティネット分野にわたる専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の総合的機能を備えた病院とすることにより、医療機能の向上を図る。

##### 二 概要

###### 【病院】

移転予定時期 平成32年度（平成32年8月目途）

整備病床規模 病床数 643床※1

〔一般410床、結核21床、精神40床、  
筋ジストロフィー116床※2、重症心身障害56床〕

短期入所（併設型） 4床（重症心身障害病棟）

（※1）上記病床数は、機能移転後に引き続き行われる既存病棟の改修工事完了後（平成33年度目途）の病床数である。

（※2）短期入所（空床利用型）4床を筋ジストロフィー病棟で運営予定

診療科 29診療科

内科、糖尿病・脂質代謝内科、腎臓内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、総合診療科、病理診断科

## 主たる機能

### (診療)

- ① 神経・筋疾患、成育、免疫異常に関する専門的な医療を行う
- ② がん、循環器病、腎疾患、呼吸器疾患等に関する専門的な医療を行う
- ③ 筋ジストロフィー、重症心身障害に関する専門的な医療を行う
- ④ 災害・救急・精神等に関する医療を行う

### (臨床研究)

主として、神経・筋疾患、成育、免疫異常、筋ジストロフィーに関する臨床研究を行う

### (教育研修)

附属看護学校及び医療関係者に対する教育研修を行う

## 【教室等】

### 整備教室等

- ① 病弱特別支援学校用普通教室 全28教室
- ② 特別教室（職業教室、家庭科教室、理科室、美術室、音楽室）
- ③ 体育館
- ④ 図書室
- ⑤ その他（多目的室、プレイルーム、保健室、教育相談室、保護者控室、管理諸室）

### 教育機能

北海道立特別支援学校 小学部、中学部、高等部

札幌市立特別支援学校 小学部、中学部、高等部

## (2) 整備の考え方

- 一 「筋ジストロフィー、重症心身障害」に関する医療を行う八雲病院の「筋ジストロフィー」に関する機能及び「重症心身障害」に関する機能を、「神経・筋疾患、がん、循環器病、救急医療等」に関する医療を行う北海道医療センターの地に移転するものであり、専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の総合的機能を備えた病院として整備する。
- 二 八雲病院の「筋ジストロフィー、重症心身障害」に関する医療機能については、筋ジストロフィー病棟・重症心身障害病棟等を新築して整備する。
- 三 併せて、筋ジストロフィー及び重症心身障害に対する在宅を含む患者への医療の充実、療養環境の改善等が図れるよう整備する。
- 四 医療の継続と同時に教育環境の確保の観点から、新築する病棟等の建物内に教室等を整備し、当該教室等は特別支援学校の用途として北海道及び札幌市において使用する。

### (3) 各部門の計画

新たな機能に対応できるように、必要な広さを確保して、必要な設備を整備する。

<北海道医療センター既存建物>

<新築建物>

			ヘリポート			
5階		渡り廊下	会議室等	普通教室		
4階	病棟、手術室、 血液透析室、リハビリ部門等 (一般・救命救急410床、 結核21床、精神40床)		重症心身障害病棟 56床 短期入所(併設型)4床	職員室等		体育館
3階			筋ジストロフィー病棟 58床 短期入所(空床型)2床	特別教室	上空通路	
2階			筋ジストロフィー病棟 58床 短期入所(空床型)2床	普通教室		公道
1階	総合案内、救急外来、外来部門、 売店、放射線・薬剤・検査部門、 地域医療連携室等	渡り廊下	NPPVセンター(仮称)等	多目的室・ 事務室等		
地下1階			調理室、機械室等			

## 2. 函館病院

### (1) 基本事項

#### 一 基本方針

独立行政法人国立病院機構八雲病院(北海道二海郡八雲町)の「重症心身障害」に関する機能を独立行政法人国立病院機構函館病院(同函館市)に移転し、現在の「循環器病、がん、呼吸器疾患等」に、新たに「重症心身障害」を加え、急性期から慢性期、セーフティネット分野にわたる専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の総合的機能を備えた病院とするとともに、道南地域における重症心身障害医療を担う。

#### 二 概要

移転予定時期 平成32年度(平成32年8月目途)

整備病床規模 病床数 365床

(一般300床、結核5床、重症心身障害60床)

短期入所(併設型) 4床(重症心身障害病棟)

診療科 25診療科

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、緩和ケア科、麻酔科、病理診断科、皮膚科、精神科、歯科口腔外科

## 主たる機能

### (診療)

- ① 循環器、消化器、呼吸器に関する内科・外科・放射線の専門的な医療を行う
- ② 重症心身障害に関する専門的な医療を行う

### (臨床研究)

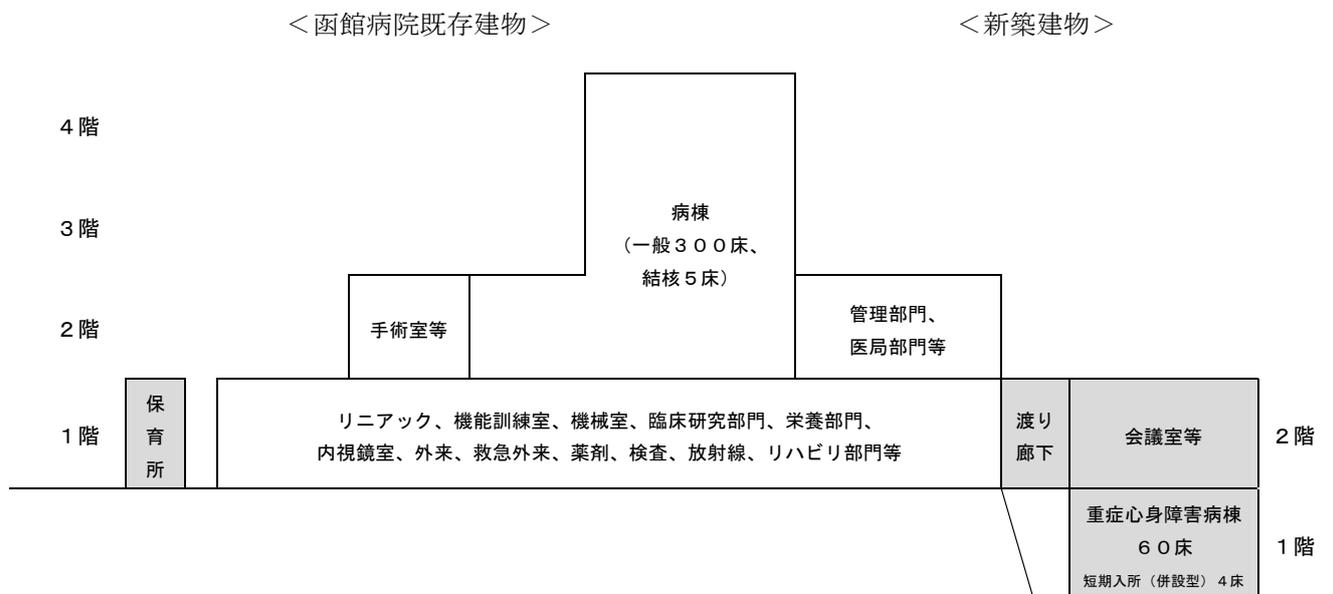
主として、循環器病、消化器、がんに関する臨床研究を行う

## (2) 整備の考え方

- 一 「筋ジストロフィー、重症心身障害」に関する医療を行う八雲病院の「重症心身障害」に関する機能を、「循環器病、がん、呼吸器疾患等」に関する医療を行う函館病院の地に移転するものであり、専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の総合的機能を備えた病院として整備する。
- 二 八雲病院の「重症心身障害」に関する医療機能については、重症心身障害病棟等を新築して整備する。
- 三 併せて、重症心身障害に対する在宅を含む患者への医療の充実、療養環境の改善等が図れるよう整備する。
- 四 医療の継続と同時に教育環境の確保の観点から、新築する病棟等の建物内に北海道立特別支援学校の訪問教育等に対応する教室等を整備する。

## (3) 各部門の計画

新たな機能に対応できるよう、必要な広さを確保して、必要な設備を整備する。



完成イメージ図①（北海道医療センター）



独立行政法人国立病院機構北海道医療センター病棟等新築整備工事

北側から見た鳥瞰イメージ図(新病棟・教室等、体育館棟)

# 完成イメージ図②（北海道医療センター）



# 完成イメージ図①（函館病院）



完成イメージ図②（函館病院）

